

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和5年8月17日（木）午後2時 議会委員会室

出席委員（8名）

（委員長）塚 田 佳 充 （副委員長）松 田 真 哉
伊 藤 ひろえ 奥 岩 浩 基 門 脇 一 男 津 田 幸 一
錦 織 陽 子 森 田 悟 史

欠席委員（0名）

議長

稲田議長

出席した事務局職員

松田局長 田村事務局次長 松下調整官

傍聴者

岩崎議員
報道関係者0人 一般0人

協議事件

- 1 市議会だよりについて
- 2 議会報告会・意見交換会開催要項について
- 3 その他

~~~~~

## 午後2時00分 開会

○塚田委員長 ただいまより広報広聴委員会を開会いたします。

初めに、協議事件1、市議会だよりについて協議いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

松下調整官。

○松下調整官 それでは、議会だよりについて御報告をさせていただきます。議会だより作業部会を設けていただきまして、7月28日と8月8日、2回にわたりまして作業部会を開いて、前回から各委員さんに決めていただくということで、3ページ分を協議をしていただきました。それで、表紙のところですけども、この写真がいいんじゃないかということで、このレイアウトについては伊藤委員さんが3パターンを用意してくださっています。それと、開いた2ページ目のダイジェストは、これも協議をしていただいて、森田委員さんと松田委員さんとでつくっていただいたものです。裏表紙はカラーになるということで、今回は委員会の構成が変わったということで、ここに写真入りで、カラーで載せるということで、作業部会のほうでは決めていただいております。

本日は、委員会として最終的な確認を取っていただきたいなというふうに思っています。表紙については今、3パターンがございますので、これのうちどれがいいかというのは本日決めていただいて、あと、印刷業者のほうに最終的にお願いしたいなというふうに思っ

ております。

もう一つ、ここに前回から定例会の様子をお伝えしますっていうのと、ここに米子市のヨネギーズのが入ってますので、この部分は同じように入れたいと思いますので、御了承いただきたいと思います。説明は以上です。

(「QRコード」と錦織委員)

QRコードも入ります。

○塚田委員長 では、説明いただきました。

皆さん、意見ございますか。

奥岩委員。

○奥岩委員 まずは、部会のほう、お疲れさまでした。ありがとうございます。

表紙、3パターンあるんですけど、部会メンバーさんの一番のお薦めはどちらでしょうか。

○塚田委員長 松田委員。

○松田委員 一応、1番はないんですけど、真ん中がちょっと前回と似たカラーだし、秋に出るので、一番左か一番右、どちらかかなという。

○塚田委員長 奥岩委員。

○奥岩委員 ありがとうございます。

そうでした、今、夏なので忘れてましたが、秋になりますんで、そういたしますと、これ、個人的にどれがいいとかってお話ししたらよろしいですか、委員長。

○塚田委員長 はい。

奥岩委員。

○奥岩委員 そうしますと、私といたしましては、今貼っていただいている中の、オレンジが2つあると思うんですけど、左、私から見て左側の、オレンジがちょっと濃いやつですかね。秋っぽくていいかなと思いますので、お願いします。

(「異議なし」と門脇委員)

○塚田委員長 津田委員。

○津田委員 私的には、何かしっくりくるのは真ん中だなと思ったんですよ。でも、さっき言われた、秋だっていうことを言われるのであれば、一番左の、奥岩さんと同じですけど、字が濃いほうがいいんじゃないかなっていうふうに感じます。書体を濃くした感じで、右端の書体を、何ていうか、持ってきたらどうかなというふうには。

○塚田委員長 色は左で、字体は右の字体。

○津田委員 濃い字体のほうが目立って、目立つというか、いいんじゃないかなって、締まっていいかなと思います。

○塚田委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 書体はいろいろあるんですけど、前回のこれ、この角ゴシックっぽいのを使われてもいいかなとは思ってます。

○塚田委員長 錦織委員。

○錦織委員 2回暑い中、お疲れさまでした。

私、下のね、何月号だったか、あれが全部が写真で、何かすごい動きがあっというふうになっというふう思うんですけど、今度は座ってる写真だからああいうふうになったのかなっ

というふうに思うんですけど。それは写真の上に字を乗せるっていう何か意見はありませんでしたか。

**○塚田委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** この写真が横長の写真だったんですね。

（「ああ、そういう苦労があったの。」と錦織委員）

なので、おっしゃるように、写真の上に文字を載せたかったですけども、横になっちゃうのでちょっと難しかったです。

**○錦織委員** いや、何かこの上が切れてて、なのでね。ちょっと頭の上の部分が切れて。

（「ちょうどここからここまでが写真。」と伊藤委員）

写真なのね。ああ、なるほど。悪くはないけど、何か、だったらなっていうふうに、欲を言えば思いましたんで。いいですよ、柿の色も。私はブルーよりは柿色っていうか、オレンジ色のほうがいいと思います。

**○塚田委員長** ちなみに10月1日発行です。

ほかに意見はありますか。特になければ、今、多かった左側の濃い色で、字体ははっきりと見える字体のほうですね、はい。にしてもらいたいということで、決まりでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○塚田委員長** では、表紙のことは決定ということでお願いします。

あと、裏表紙とかの分は、もうそのままいきますので、よろしいですかね。

開いたところのダイジェスト版、森田委員と松田委員がつくってくださった分で、見えますか。

回して見ますか。回して見てもらえますか。補正予算で決まった部分の中で2つ選んで、ちょっと入れてます。ここは白黒なんで。

じゃあ、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○塚田委員長** 最後の後ろのページですけど、委員会のカラー写真になります。

（「それ、委員会のこんな感じの写真ですか」と錦織委員）

皆さんの顔写真がカラーで出るという。

では、よろしいですかね。では、市議会だよりについては以上となります。

次に、協議事件2、議会報告会・意見交換会開催要項について協議いたします。

初めに、資料について事務局から説明をお願いいたします。

田村次長。

**○田村事務局次長** それでは、初めに資料1を御覧いただけますでしょうか。

前回の委員会で、議会報告会・意見交換会開催要項案につきまして、御意見があれば提出していただくということでお願いをしておりました。具体的には、公明党議員団さんとよなご・未来さんから御意見を頂戴したものです。

この資料ですけども、一番左側には前回お渡ししております要項案、項目1番から11番まで、全体を載せております。その右側に、それぞれの会派から出された意見、全ての項目に対してではなかったんですけども、御意見のあった項目を、その項目の右の欄に記載をしたような資料にさせていただいております。

もう1枚、資料2をお配りをしております。こちらも前回の委員会の中で、今後開催に向けてのスケジュール案を提示してほしいという御意見がありましたので、委員長にも確認をしていただきまして、このような形で配らせていただいております。

なお、このスケジュール案につきましては、要項案の開催時期が令和6年4月、または5月を想定ということになっておりましたので、それに沿った案ということでつくらせていただいております。今後の協議によりまして、修正する部分なり、さらに具体的な開催に向けてはもう少し詳細なものもつくっていく必要があると思っておりますけれども、今日の時点ではこのような形でつくらせていただきましたので、併せて御協議をお願いしたいと思います。

説明は以上です。

**○塚田委員長** ありがとうございます。

それでは、協議に入ります。項目ごとに提案のあった会派から補足説明の確認をお願いいたします。

松田委員。

**○松田委員** よなご・未来から、意見が複数というか、いろんな意見がありましたけれども、上げさせていただいてるのは開催のタイミングについてですけども、秋口が理想的なんじゃないかというところ。

あとは、対象、関係団体のみとなってるんですけども、一般の参加者もやはり対象とすべきではないか、幅広い意見を聞くというスタンスから。

あとは、議会報告会の中でも、市民から質疑応答の場面があった場合にどういう対応をするのかというところを、ある程度詰めておいたほうがいいんじゃないかというところと、あと、記載はちょっとしてないんですけど、公明党さんのところのテーマ設定というところであるように、大テーマがあって1個のテーマを3つに分けるべきかどうかというところがあって、会派の中で話をする中で、議会報告会の中の議会報告という内容についてが、どのような内容でいくのかなというのがちょっと、その今の要項案だと知り得ないところがあつたんで、その辺りがある程度はつきり、こういった形でするっていうものが見えたほうがいいのかなと思います。その辺り、内容の、こういうようなイメージでも、もしあれば御説明いただければなと思いますけど、どうですか。

議会報告会の内容をどういった内容にするのかっていうところが、ちょっとこの要項では分からなくて、今までの中であれば、決算と予算の説明というのが主だったということで聞いておまして、それならば、やはりこの、今のもともとの要項の案にある令和6年の4月から5月というところだと、ちょっとタイミングが遅いのではないかという意見もありまして、そうなるとやっぱり議会報告会の中の議会報告の内容についてをどのようなものにしていくのかっていうところ。あとは、議会報告があつて、その後意見交換があるんですけども、その流れが、大テーマが、もともとその議会報告の主のテーマがあつて、それに関連した内容で意見交換をするのかっていうところが、ちょっとその要項だけでは分からなかったんで、その辺りがどのような形で予定していくのかなっていうところを詰めたほうがいいかなと思いました。

**○塚田委員長** それについてですね、この間、議長がつくっていただいた分の中で、テーマ設定、4番のテーマ設定のところですよね。意見交換会のテーマ、各常任委員会で設定す

るといふふうになっていまして、例えばで、総務政策委員会は地域と公民館の在り方についてというのをテーマとして報告会をするという形になってますんで、各委員会で、常任委員会で報告会という形になります、今回は。民生教育は民生教育、都市経済は都市経済という形で。皆さんが所属しているので、そこでの報告会という形はどうかっていうのが議長の案であります。

4月から5月という想定は、11月、12月ぐらいもって思っはいるんですけど、今からどうしても9月議会があつて、その後準備してとかなると、かなりばたばたになると思いますんで、ちょっと話をいろいろしたりですね、本当にテーマをこれでいいのかとか、詰めることが多々あると思いますので、ちょっとスケジュール的な感じで、4月、5月がいいじゃないかっていうところだと私は思っていますので、この日程でいいんじゃないかなとは、私的には思っていますが。

松田委員。

**○松田委員** タイミングについては理解させていただいて、あとは、先ほどの議会報告については、開会して、挨拶があつて、議会報告というものは、各常任委員会がそれぞれ分かれて、常任委員会ごとで議会報告をするという形で、その後に、意見交換に流れるというか、関連したテーマで進めるという形ですか。

**○塚田委員長** そのほうがずれないというか、この質疑応答がずれない。

**○塚田委員長** 門協委員。

**○門協委員** 今、委員長からも説明いただきましたけど、テーマの設定は各常任委員会ごと、3つ常任委員会があつて分かれてます。これ、あくまで案ですので、これでやるんだっていうことではないはずですので。これはまた、今後の委員会で協議しながら決めていけばいいのだと思います。

今、よなご・未来さんは、今のところで、これでいいですね、いわゆるこの意見というか、出された。

(「いいっていうと」と松田委員)

まだほかに。

(「書いてあるところですけど」と松田委員)

委員長、いいですか。

**○塚田委員長** はい、どうぞ。

**○門協委員** ちょっと公明党議員団さんのほうの考え方もお聞きしたいなと思いますので、お願いしたいと思います。

**○塚田委員長** 津田委員。

**○津田委員** 最初に言っておきますけど、この要項を、議長が出された要項を覆すための意見ではないということをお承りいただきたいです。全くその、それは最初に申し上げときます。ただ、うちとしましては、懸念材料というか、ちょっと本当に心配するところがすごくあるもんでして、一応こういう話をしたときに意見として出たものを上げております。

それで、内容的にはもう少し厚くしてはどうかというようなことがあつて、鳥取市議会の議会報告の要項を見たときに、その要項については、期間を過ぎたら参加できないというようなことが書かれているので、そういうふうにはちょっとしてはどうかという話があり

ました。

それからあとは、この実施方法の(2)のところですけど、開催募集定数ですね、どのようにするのかというようなことが出まして、あと、定員に対して考えるよりテーマによって考えるべきではないかというような意見が出ました。

あと(3)ですけど、意見の交換のテーマに沿った市内の関係団体にのみ限定するのかというような内容もちょっと出まして、意見がですね、そういうようなところもありました。

次のページですけど、報告会に関しては、発表については、グループトークではないのに発表は要するのかというようなところが出まして、セッションじゃないのかと。ただのそういう会合的な要素のものではないのかという、報告なのに発表が要するのかというようなところが出ました。

それからあとは、先ほども松田委員のほうからありましたけど、大テーマがあって、1個のテーマ3つに分けるといような話が出まして、それから、ここに書いてあるとおりでなんですけど、条例等の話もちょっと出まして、一番下にありますけど、委員会条例での権限等が全く練られてないとかっていような話もちょっとありました。

それからあと、班構成ですね。そもそもとして、定数やテーマの決め方があって、定数で決定できるものではないかというような、ちょっと話が出ました。

ちょっとその辺を、うちとしてはこういうような意見が出て、これを一切、こういうふうにしるかというのではなくて、こういうちょっと懸念材料がありましたというようなこととございます。

**○塚田委員長** 分かりました。

何か意見ございますか。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 公明党議員団さんとよなご・未来さんから御意見いただいているの、一つ一つちょっと確認しながら、私見になるんですけど、述べさせていただけたらと思います。

まず、実施時期ですね。これ、4月、5月想定で、今、松田委員さんから言われて、10月、11月のほうが早いんでいいんじゃないかっていうのは、過去にもいろいろこういった議論をしてきて、早いほうがいいんじゃないかっていう話もあったんですけど、今回、8月、今、台風来てますけど、秋が台風の時期だったりとか、年末年始は市民の皆さんは出づらいたろうとかっていうのと、2月が大雪になったりするだろうとかっていうのと、3月、4月もまた年末年始と一緒に出づらいたろうとかっていうのもあって、今までこういった、春ちょっと過ぎた時期にさせていただいた経緯があるので、それでこの時期かなと思って見てましたので、可能でしたら多くの方に来ていただきやすい時期がいいかなと思うので、決算に絞ってお話をすると早いほうがいいかなとは思いますが、市政全体に対して報告をということなので、個人的には4月後半、5月ゴールデンウィーク前後あたりがいいんじゃないかなっていうふうに考えてます。

公明党議員団さんからあった、参加者の募集の期間も縛らずにっていうのは、会場、定数のこともあるんですけど、そのところはきちっと、注意書きなのか何なのか分からないんですけど、会場、急にたくさん来られて入り切らないっていうことがないようにだけできれば、この辺は柔軟にできるんじゃないかなというふうに考えます。

2つ目なんですけど、100名程度ってなると、今まで4か所で開催をしてまして、1か

所当たり多くて30名弱とかだった、ごめんなさい、ちょっと記憶がおぼろげですけど、それぐらいだったような気がしますので、それが1か所になるとっていうふうに考えると、100名前後なのかなというのは何となく妥当かなというふうに思います。

3番目のテーマに沿ってっていうところで、これ、テーマに沿った団体を想定っていうことだったんですけど、これはまあ、想定して資料は準備はするけど、来られた方には分かりやすく説明させていただいたりとか、質問があったときに答えられるように資料の準備をしたりとかしたら対応できるのではないかなというふうに思いましたんで。

ページはぐって3つ目なんですけど、これは時間の都合もあると思うんですけど、今、2つ御意見いただいておりますので、おおむね90分っていう中でバランスを考えて、どこをどれぐらいに配分するのかっていう、ここの2つの意見踏まえて準備をしていったらいいのじゃないかなというふうに考えます。

4つ目、テーマ設定なんですけど、こちらは先ほど門脇委員からもお話もありましたとおり、広報広聴各委員会から出てますので、そここのところできちっと準備ができたかなというふうに思います。

班編成、こちら、先ほど津田委員からもあったんですけど、これ、多分100名マックスで考えたときに6班がいいんじゃないかっていうふうに考えられてると思いますので、人数次第で、6班とは書いてあるんですけど、人数次第でこれが2班になるのか3班になるのか、もしくは6班じゃなくて10班ぐらいあったほうがいいんじゃないかっていうようなことも想定されますので、そういった場合に動けるように、ちょっとここもある程度柔軟なほうがいいのかなと、今、お話伺って思いました。

ほかに関しては前回確認させていただいておりますので、そのままでもいいんじゃないかなと思います。特に変更はないんですけど、個人的には特に変更必要とは思わないんですけど、ある程度柔軟性を持った状態で開催準備、入ったらいいかなというふうに思います。

スケジュールのほうもいただいておりますので、ちょっと併せてお話しさせていただきますと、これは確かにこういった形なのかなとは思いますが、ちょっと、テーマの協議と決定のところ、上から3行目のところですかね。意見交換会テーマ協議、決定というのが、この期間で決まればいいけど、もしかするともうちょっと時間がかかるかもしれないなと思いました。というのも、今までコロナがある前に、各委員会の内容を時間に沿って2つなり3つなり決めてたんですけど、その際に、結構ボリュームがあるもんですから、そこに対してどれがいいだろうって絞るのに、結構時間を要したような記憶がありますので、もう少しここ、余裕を持っていただけるとありがたいなとは思っています。以上です。

**○塚田委員長** ありがとうございます。

ほかに意見は。

松田委員。

**○松田委員** 確認、対象の方なんですけど、意見交換のテーマで、市内関係団体のみに限定をするのか、一般参加者も、やっぱり意見交換会に出たいっていう方はどのような想定でいくんでしょうか。

一般市民の方も参加できたほうがいいと思うんですけど、その辺りはどのような想定なのか。

**○塚田委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 一応、委員会がこのたび変わりました、方向性として、前回は引き継いでこの方向性でいこうって一応、大まかなことが大体引き継いで決まってるところもございまして、自治会ブロックごとの開催ではなくて、テーマに沿った相手方を選ぼうというようなことで、ここに今、引き継いできてると思ってます。委員会メンバーが替わりましたので。そのテーマごとに相手方を選ぶというふうになってますけど、今言われた意見、当然出てくると思いますので、それは協議しながらやっていけばいいと思いますけど、ちょっとこれ、すみません、委員長、申し訳ないですけど、今、公明党さんと、それからよなご・未来さんと出てきてたんで、ちょっといろいろこう、なかなか整理ができないところなんですけども、いろいろあって、議長が案をつくってくださいまして、最終的には議長が決定するってことになってるんですけど、ちょっとここんとこ、せっかく議長来てますんで、いいですか、ちょっと議長の意見。

**○塚田委員長** はい、議長の意見を。

議長。

**○稲田議長** すみません、私に質問がありましたんで、答えさせていただきます。

要は参加者をという部分に関して言いますと、もう歯に衣着せず言わせていただきましたら、以前、報告会の收拾がつかなくなった場面がございました。二度とそのようなことは起こしたくありません。

それと、これは議会報告会ではないんですけれども、委員会単位で視察に行ったこともございますし、それから、決算委員会というのが以前は、今はもう予算決算委員会の全議員なんですけれども、以前は各会派から人数バランスにより選抜された委員による構成で決算委員会がありまして、市内視察というのもございました。そういう場でいきますと、要は視察ですから、項目がもう決まっていますよね。これについて現地の担当の方、あるいは周辺の方から意見を伺う。特に有意義だったのは、私もちょっと経済関係の所管の委員会の委員長をしておりましてけれども、商店街の店主さんであったりとか、それから、当時は地域おこし協力隊の方とかそういう方と出会ったり、あるいは米子に進出された企業様だとか、これもそこで話を聞いて、いろんな行政課題をいただきながら、市としては何を今度すべきかという、非常に有意義だったという経験がございます。報告会でなくて市内視察ですよ、ちょっと違うかもしれませんが。したがって、広く一般の方にとというのは非常に重要な視点ではございますが、やはりテーマ、あるいは米子市の行政課題が何であるかっていうのをしっかりと据えて、それに関係される方と相対していくことが、より有意義な時間が過ごせるという私の判断でございます。

まかり間違っても、一般に広くということが、くどいようですが、收拾のつかない事態を及ぼすという苦い経験がございますので、ここは避けなければならないという意図がここではございますので、その点は皆様に十分御理解をいただきたいと思います。

以上で終わります。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 今、議長はそう言っておられたんですけど、報告会ですんで、特にそこは広く募ってできるのであれば、その開催のほうがいいかなと思いますし、これ、個人的にこの市内関係団体を想定って書かれたのは、案内出しますよね、議会報告会やりますって。あれ、議会だよりも書くんですけど、広報広聴でも自治連さんところにお邪魔をして、



以前やったのは、いついつやりますんでってチラシをお配りして、自治会さんのほうで配布協力依頼をさせていただいたりとか、そういった経緯があったんで関係団体を想定って書かれたのかなと思ってましたんで。文面云々に関しては、先ほど議長も言われたように、今までの難しかった、開催がいろいろ大変だったっていうのは、そこをきっちりお話を聞いて、じゃあどういふふうで開催したらいいんだらうかっていうのは我々のほうでまた考えたらいいと思いますし、対象を絞ってやるのであれば、あんまり議会報告会じゃなくて、ただの何か勉強会みたいな感じになっちゃうと思いますんで、広報に関してはある程度自治会さんがメインになると思いますけど、そっちに関して広報してっていう形にはなると思うんですよ。開催自体でそんな絞ってっていうのは難しいんじゃないかなとは思いますが。テーマに沿ってっていうふうにも書いてあるんですけど、そもそもが予算決算のことと委員会のことってなりますので、ほぼほぼ市政全般、皆さんの生活に関すること包括してますんで、であれば、お子さんから御高齢の方まで、皆さん来ていただける方は来ていただけたほうがいいのかなどは、個人的には思います。

**○塚田委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 奥岩委員さんの言われることもよく理解できます。一方で、議長が先ほど言われましたけども、今、3つの常任委員会でそれぞれ報告されるときに、例えば今、自治会の話が出ましたけど、自治会に関する報告をやると、今、何でしょうかね、例で挙げれば加入率がどんどん低くなってるという、そういうこともありますし、そういうことに関して、今どういうことを米子市がやってるのかっていうような、自治会、これから活発にね、にぎやかにどんどんしていくのには、やっぱりそういう報告するときには自治会さんの関係の方を募ってやったほうが有効であろうと思ってます。なかなか広く、市民の方に広くっていうことになりますと、私は、その一回一回は今こうであるけれども、これからずっと、ほぼ永久的っていいですかね、やっていく上では、いろいろなテーマをそれぞれ決めれば、それに従って、それに合うような市民の方に募集をかけていけばいいんじゃないかなっていうふうなものにも思っておりますので、学校関係の方である、それはテーマに沿ってですけども、そういうふう呼びかけても、むしろそのほうがいいんじゃないかなと私は思っております。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 繰り返しになりますけど、テーマって言われても、さっきもお話ししましたけど、予算決算常任委員会でやってることの報告になりますんで、門脇委員とは全然意見が違うんですけど、特にそこで絞る必要はないかなと思いますし、報告も含めて、我々議員として選出していただいてやらせていただいているんですけど、そもそもが投票率ももう50%切ってますし、その辺も考えて、お子さん、これからの主権者教育も含めて、小学生、中学生、高校生さんのほうにもしかしたら、学校さん、教育委員会さんに御協力依頼して告知するのもありかもしれないですし、以前、広報広聴で、それこそ高専さんとか御協力いただいて、やっぱりお願いすると何人か学生の方が来てくださったりとかっていうのもありますので、あえてこっちから門戸を絞ってっていうよりは、オープンにした状態で、門脇委員さんがテーマっていうところにこだわられるのであれば、あえてじゃあそこに、たまたまこういうテーマの報告がありますよ、子育てがありますよ、小学校、中学校の話題がありますよっていうのがあれば、ちょっと厚めに広報をして、来ていただくよう

にお声がけしたりとかってというのはありかなとは思いますが、基本的にはオープンにしていたいただきたいです。

**○塚田委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** ちょっと新しい委員会になったので、委員会でまた発展するっていうのはいいと思うんですけど、前年までの議論を言うと、報告会っていう、自治会中心で広報して来てもらうっていうのが非常に混乱を招いたこともあるし、それから、若い人がなかなか来れないとかね、そういう幾つか課題があって、それを整理するために鳥取市、いろんなところを見ると、鳥取市がこういうふうにやっているといいんじゃないかっていうことで、広報広聴委員会としても視察に行くと、それでそのやり方なども聞いたところで、まあ言えば、意見交換会っていうのが主たるもので、議会の報告っていうのは、冒頭15分ぐらいが議長が兼ねてしてたと思うんですよ。何か今聞いたら、議長挨拶だけされて、何かそれぞれの委員長が議会報告、そういうことをされるっていうことなんで、それはそれでありかなと思うんですけど、そこでテーマをやっぱり絞るっていうことは、例えば子育てグループの何とかのグループがあったら、こういうのでやりたいと思いますけどっていうことの投げかけ。一般的に子育て中のお母さんどうぞ、お父さんどうぞっていうのではなく、ある程度のグループっていうか、何かそういうもので活動してるとか、何かそういうのがあって、そういうところに呼びかけてするとか、それから、有機農法してるところ、そういったところのグループでどういう課題があるのかとか、そういうのを聞きたいっていうことでこういうやり方を、それぞれの常任委員会でテーマ設定して、募集もかけてもらうっていうことだったと思うんですけど、どうでしたっけ。

だから、今の意見だと、何かまた元に返るのかなっていう。一見よさそうだけど、それでいいのでしょうかっていう。

それで、私も一堂に集まるっていうのがいいのかなっていうのは思うんです。ただ、ある程度のスペースもないといけないし、例えば5つ、6つのグループで部屋を設定してね、同時にやるっていうことですよ。今までの分は同時じゃなくて、この地域でしたり、この地域でしたりっていうことだったですね。いろんなやり方があるかもしれんけど、今回は同時にいろんなテーマを投げかけてやるっていうのが、考えたやり方なんですよ。

どうですかね、門脇委員や津田委員なんか。

**○塚田委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** そういう方向で引き継いできたものだと思ってましたので。

**○錦織委員** シャットアウトするもんじゃないと思うんだけどね。まあ、一遍これでやってみたらっていうような、私は何か割とフランクな気持ちでいて。やっぱりもうちょっと本当に今苦労してる人たちの、もうちょっとほかの人の声も聞いてみたいっていう声があればだと思っし。

**○塚田委員長** ということは、報告会よりも意見交換会の時間のほうが長いような感じ。

**○錦織委員** そうそうそう。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 委員長がどういう想定でおられるのかがちょっと混乱してきたので、報告、これ議長から頂いた資料で、委員長も当然見ておられて理解はしておられると思うんですけど、この議会報告のところ、今日の資料でいうと、めくって大きい数字の3があって、

(3)の議会報告ですね。ここが、この報告のところに各常任委員会でテーマを設定してって  
いうことで、その総務、民生、都市がそれぞれやってって理解でいたんですけど、こ  
こで3委員会の報告をしてっていう形ですよ。

**○塚田委員長** はい。私もそう思っていましたけど。

奥岩委員。

**○奥岩委員** そうすると、この各常任委員会がこのとき抽出されたテーマに沿って、さっ  
きのお話じゃないですけど、何ていうんですか、興味のありそうな団体さんに向けた声か  
け広報するっていうのと、それだけになるんですかね。それとも自治会さんのほうにまた  
依頼して広報するっていう形ですか、どちらですか。

**○塚田委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 以前は、前の要綱だと自治会をブロックに分けて、自治連の会長会にお願  
いに行って、チラシを回覧板に回してもらったりしてましたけど。それが、やっぱり自治会  
なので、御高齢の自治会員の方が主になってしまうってというようなことで、もっとも  
若い方の意見も取り入れなきゃいけないというようなところで、ちょっと今のやり方を少  
し変えて、テーマ設定をして、そのテーマに対していろいろな意見交換をする、それを主  
としたいというようなことで、前回ね、鳥取市議会に聞きに行かせていただいたりして  
いました。

私も、そもそも鳥取市議会は、一回一回、1年1年何か要項を定めていて、だから、今、  
要項をばちっと定めるのは、一回一回それは大変なので、それは必要なんだけど、あ  
んまり事細かいところまで決めてしまうと、前のブロックで自治連のブロックにしたみた  
いに、やっぱりちょっと、来年、再来年、二、三年ぐらいすると、またそぐわないところ  
が出てくるのかななんて思ったりすると、やっぱり基本的なところを要項で定めておいて、  
あとは細かいところは、今のニーズだとか、あと、テーマに沿ったようなやり方をやって  
いったほうがいいんじゃないかな。またその要項を一々変えていくってというのはちょっと  
大変だなと思ったりもするので、そのほうがいいんじゃないかなと思ったりもするので、  
そのところは事細かく決めずに、目指すところを決めていって、さっき錦織委員も言わ  
れたように、まずはやってみて、またちょっとそぐわないところや、ちょっとここはこ  
ちのほうにしたほうがいいねみたいなようなところで、少しずつ何か進化をしていくつ  
ていうようなところを目指したほうがいいのかなど思ったりもします。

もう一つ付け加えるなら、鳥取市議会も、あるときは人数が集まったりするんだけど  
も、やっぱりテーマによったりとか、時期によったりとかして、募集しても集まらないと  
きもあって、議員それぞれがいろんな団体だとか、また市民の皆さんに声をかけていく  
というような場面があったので、それは基本そんなに、シャットアウトっていうのはなか  
なかできにくい、全てがシャットアウトっていうのはできにくいので、それはそのテーマに  
沿った意見交換をするってというようなことで、大きくはワールドカフェっていう、意見交  
換をするというようなやり方を基本としているので、そのところを押さえていただけれ  
ば、そんなに何か大変なことにはならないんじゃないかなと思ったりします。

**○塚田委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 伊藤委員が言われた、そういうことだったと思います。

ちょっと、ごめんなさい、元に戻りますけど、この報告会、一応この案でつくってある

という、先ほど議会報告のところ、委員長も言われたように議会報告、簡単に議会報告を誰かが、誰かちょっとまだ全然決まってないですけど、簡単にやって、そこから各班分けをして、そういうトークカフェ方式ですか、ワールドカフェ方式に分かれていくような話じゃなかったかなと思ってるんですけども。

**○塚田委員長** 議長。

**○稲田議長** 今、お話で、すみません途中で。意見じゃなくて解説という位置づけでお願いします。

2 ページの上段の3のところだと思いますが、(1)開会、(2)挨拶、私で、(3)議会報告がどれぐらいの内容あるいは時間で、どういった内容でっていうところに関しては、いろいろ私も想定はしましたけど、あえてここに何を何をするという列挙をするよりは、ちょっとぶっきらぼうかもしれませんが、こういうふうに書かせてもらってます。したがって、案として説明だけさせてください。

この議会報告に今後行われるであろう意見交換の前振りのな、前説明的なものを入れるのも可能ですし、あるいは、それは各テーマごとに分かれた後にしたほうがいいであろうとあれば、それも委ねますし、どちらでも大丈夫だと思います。というか、どちらでも大丈夫だという想定で書かせてもらってますので、繰り返しになりますが、議会報告が、いろんなことを議会がやってますけれども、そこにテーマ設定に関したことを述べるのでも、私はありではないかと思っております。以上でございます。

**○塚田委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** 挨拶と議会報告はやっぱり議長がしないと、人が替わったりすると時間かかるので、挨拶も議会報告も兼ねて15分するという感じでしたよね。

それで、だけどどっちみちみんなが、最初から分かれて座つとるのかどうか、ちょっとそこら辺は分からないんですが、もうあれが終わったらもうすぐ始めましょうっていう感じで。それは、何ていうの、ファシリテーターでもないけど、何か進行役みたいなのは常任委員長とここのメンバーが協力してやるっていう感じでしたよね、何か、案としてはね

それで、その募集もこちらからかけていくっていうのもあるんですけど、声かけもあるんだけど、SNSでやったりとかね、何かそんな感じで。だから時間設定なんかもね、どういう、日時だよな、その設定もどういうふうにするかとかね。子育て中の人はいつ頃がいいんだろうとか、経済だったら夜でもいいかとかいうあれもあるかもしれないけど、まあ一応、折り合えるところでやらないといけないんでね。

今までの議会報告会っていうのは、やっぱり夜とかそんな時間設定って感じですか。ブロックでいろいろね、やられてるから、対応できたと思うんだけど。

**○塚田委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 平日だったら夜間、土日だったら昼の時間っていうような形だったと思うんですけど、錦織委員が言われるように、テーマとかに沿ったもの、そのときそのときで考えていけば、決めていけばいいんじゃないかなと思ってます。

**○塚田委員長** ほかに意見ありますか。

奥岩委員。

**○奥岩委員** いろいろ言いましたけど、先ほど錦織委員も言われたように、前任の広報広聴さんのほうから来てまして、これでやってみようっていうことになってますので、まず

は我々これでやらせていただいて、課題をちょっと見ながら報告会に向かって準備をしたりとか、報告会のときも見たらいいのかなとは思いますが。

1つだけ気になるのは、やっぱり松田委員がおっしゃられた対象を絞るっていうのが、広報の仕方をどういうふうにするのがいいんだろうかなっていうのは、準備をしながら考えられたほうがいいかなと思いますので、委員長がどういう想定でおられるのかちょっと不確かでしたので、ちょっと今お話をしても、SNS使ったほうがいいんじゃないかとか、市議会だよりにいついつやりますっていうのを載せるのもありだと思いますし、テーマが決まった段階で広報をしないっていうのも分かりましたんで、そうすると、さっき資料2のほうのスケジュールは言わせていただいたんですけど、結構、4月、5月とはいえ、広報期間を含めるとかなりタイトになってきますので、資料は大分早い段階でできた状態で、関係団体さんを選定して、広報とかお願いするんであれば、かなり早めに動かないと難しいのかなと思いましたんで。準備してきていただいているので、これで動くことに関しては了といたしますので、それに向けて、じゃあ実際のスケジュール案が出てますんで、動けるように、できればちょっと委員長と事務局とでもう少し準備をしていただいて、こうだこうだっていうところを今後、この案のとおりできたらなと思いますんで、よろしくをお願いします。

**○塚田委員長** 松田委員。

**○松田委員** スケジュールについては、いろいろ、今までの流れまで、準備を考えると、確かにというところが理解できますので、議会報告会で前回から時間が大分たっているので、するからにはきちっとして、多くの方に来ていただくということを目指すということで、この満を持してやるということ。

あと、ちょっとしつこいんですけど、一般の方に向けてについて、まだここでは委員会ごとでテーマが決まってくるので、それによって、不特定多数じゃないですけども、ある程度幅広く集めることも含めた案ということであれば理解はできるかなと思いますんで。なるべく限定し過ぎないように、せっかく開くのであれば、していただきたいという意見です。

**○塚田委員長** ほかにありますか。

では、なければ、また皆さんとお話ししながら粛々と、早急に進めていきたいと思えますので、またよろしく願いいたします。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** すみません、確認ですけど、この前回頂いた資料の要項をベースにして、本日頂いた資料2のスケジュールで進んでいくっていうことでよろしいですね。

**○塚田委員長** はい。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 先ほど松田委員もおっしゃっておられたんです、私もずっと言ってしつこいんですけど、報告会に来ていただく市民の方の対象に関しては、どういうふうに広報をして、どういうふうに来ていただくかっていうのは、テーマを決めながら決めていくっていうことでよろしいですか。

**○塚田委員長** 松田委員。

**○松田委員** 先ほどの話で、テーマに沿ったところで、幅広く。あと、今後のところにつ

いては、この要項案については、どういうふうに決まる、確定していくんですか。今日で、どういう形で、議運とかで決まるんですか。すみません、流れは十分理解してなくて。

○塚田委員長 田村次長。

○田村事務局次長 要項案については、この広報広聴委員会の中で決定をしていただくことかなと考えております。前回のように必要に応じて持ち帰って協議していただくというようなことで。要項案自体は、委員会の中で決定をしていただきたいと思います。

○塚田委員長 松田委員。

○松田委員 要項案の決定っていうのはいつのタイミング、このタイミングですか。

○塚田委員長 門脇委員。

○門脇委員 大まかなところは今日、いろいろ皆さん意見言われて、大体議長が示された案に沿っていけばいいってことなんですけど、大まかなとこしか決まってませんので。

あと、結局、今、意見がいろいろ出た中でも、まだ各常任委員会のテーマっていうのをやっぱり決めてもらわないと、先ほど言われたように広報のやり方とか決められませんので、やっぱりテーマっていうのを各常任委員会で設定していただくっていうことも、早急にやっていただかないといけないことだと思いますので、これは特に予定を、次は各常任委員会の開催要項を説明するようになってるんですけど、ちょっと事務局にこれは聞きたいんですけど、これは委員長から説明に行くっていうことなんですか。

○塚田委員長 田村次長。

○田村事務局次長 各常任委員会への説明方法につきましても、これもちょっと事務局、正副議長も含めて、協議をさせていただく必要があるのかなと今の時点では考えております。委員会でそれぞれ入らせていただいて説明をしていただくのか、あるいは正副委員長お集まりいただいて説明をされるのか、いろんなやり方があると思いますので、少しそこに入る前には協議をさせていただきたいと思っております。

その上で、委員の皆様から何か御意見があれば、それも伺って参考にさせていただきたいと思っております。

○塚田委員長 松下調整官。

○松下調整官 すみません、ちょっとあの、補足での確認なんですけれども、この要項を固めていただくのはこの広報広聴委員会だと思っております。議長から出していただいた案を会派で持ち帰っていただいて、今日それぞれの意見があって、今日ある程度固まったところと、まだなかなか固まらないところがあったんじゃないかなというふうに思っています。具体的に言いますと、第2項の実施方法で開催日時、4月または5月を想定と。この想定というのは、たたき台のたたき台という意味で想定という言葉を使って出してますけれども、今日の協議の結果で、この4月または5月というのはいいんじゃないかなというふうに思いますので、この「を想定」というのは今日の段階で取れるのかなと。

開催場所も100名程度の場所を想定ということになってますけど、今日の話聞くと、人数がどうなのかというのは、今日の段階ではまだ決まってはないですので、ここの辺りの案としての表現をどうするか。あと、対象団体についても、原案では市内の団体を想定っていうふうにしていただんですけど、今日の意見を聞くと、もう少しオープンとか、そういったことも出ましたので、この辺の表現の案として、もう少し精査するにはこの辺の表現をどうするかとかいうところが少し。あとは、3、4、5、6、7、8、9、10、

11までは今日、協議の中であまり大きな問題にはなっていないので、そこの辺りを、若干の改正案といいますか、そこをもう少し協議をしていただいて、今日のところをどういう形にするのかっていうのを御協議いただければなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○塚田委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 全体的には異議はないんですけど、この実施方法等っていうところに令和6年4月または5月を想定とか、100名程度が可能な場所を想定とか、ここは私は何か要らないんじゃないかなと思って。だから、そのときに決定をする、その年度で決定をするっていうようなところをどこか入れたらいいんじゃないかな。

○塚田委員長 錦織委員。

○錦織委員 ということは、2、実施方法等で開催日時、開催場所、対象などについてはその年度で決定するというふうにしたら、自由度が増えますけど。

○塚田委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 だから、4月、5月を想定もいいけれども、毎年4月、5月ってそれを決めるのも何か、今段階でどうかななんて思ったりもするので、やっぱり松田委員がおっしゃられるように、私はやっぱり11月だとか、そういうようなときに意見をいただくと、次の年度に反映がよりできやすいのかななんて思うと、やっぱりこれはもう決めてしまうっていうよりは、その年度年度で事情に合わせてやるっていうようなことをここに明記しておくっていうことでいいんじゃないかなと思ったりします。

○塚田委員長 今回はですよね。今回はこの4月、5月が一番いいだろうっていう話でね。

○伊藤委員 今回はね。

○塚田委員長 今回は。

○伊藤委員 だけど、これ要項で。

○塚田委員長 これを入れちゃうとっていうことですよ。

○伊藤委員 でも、議長は多分、何年度の意見交換会開催要項、鳥取市議会みたいに毎年毎年この要項をつくるっていうことですよ、議長。毎年。

○稲田議長 少し時間をいただきます。答弁しますので。

○塚田委員長 まあ、ここに令和何年度って入れるように、数字は入っていないんですもんね。

伊藤委員。

○伊藤委員 だけれども、この委員会は毎年委員が替わるじゃないですか。替わるたびにこの要項案を一々つくるっていうのは、結構何か大変だし、時間もロス。

○塚田委員長 議長。

○稲田議長 今日の皆さんの意見がこういうふうになる想定をしておりますので、すみません。

まず、開催要項については、現行の分ですよ、この今日の資料ではなくて現行の分は、ほぼ確実にこれは改正になるわけです。改正した後に、今、伊藤委員や錦織委員や、他の委員の方も同調される動きがありました。だから、項目だけ書いてあって、その下は特に触れてないと、そういう要項も私、存在すると思うんです。

この現年度の委員の皆さんはそれでよかったけれども、また来年、委員が入れ替わった

ときに、えっ、何も決まってないじゃないみたいなことにはしたくないわけですよ。となると、要項の、下という言い方は適切かどうか分かりませんが、開催マニュアルなり、その運用マニュアルなりをつくんなきゃいけないのかなと思ったり、要するに、先ほど言いました、このメンバーが来年同じだったらいいんですけど、そこがぶれるとちょっと困るなど、が率直なところですよ。

したがって、要項はいずれにしても改正されます。言うなれば抜本改正です、これ、やることが。そのときに、どこがいわゆる落としどころ、落としどころというのは、後年度にも着実に運用できるかどうか、今の御意見が最も適切なのか、違うやり方があるのかを、現時点で私は持ち得ておりませんので、ちょっとそこは宿題でいただくとして。ただ、今年度やる内容については、そこは特に今関係ないですよ。もう4月ないし5月やるという方向は決まったので、どう書き物として残すかについては、私のほうでちょっと考えさせていただきたいということで御理解いただければ幸いです。以上です。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 新しいほうの要項の実施方法等なんで、さっき錦織委員も言っておられたんですけど、こここのところをここまで細かくするのか、自由度を高く書くのかは考えていただいて、現行の分でも、たしか年に1回想定して、4ブロックでって、それぐらいしかないはずなんです、それに近い形でもいいかなとは思んですけど、今回はこれに沿ってってということで。ただ、文章として、残った要項としてきちっとこのルールにのっとってやろうっていうのであれば、ある程度きちっとしたものはつくらないといけないと思いますので、そのところは自由度は高いほうがいいですけど、きちっとルールはこうだよってというのは示したほうがいいと思います。

スケジュールに戻りますけど、資料2のスケジュールを見てみますと、開催要項の協議決定を本日から9月後半ぐらいまでですかね、取っていただいているので、今日いろいろ意見が出て、じゃあこれを基に委員会ではこれとこれとこれを決めないといけないって、さっき松下調整官も言っておられましたけど、その部分と、さっき議長がおっしゃっておられたところと、あとは委員長が想定しておられたところもあると思いますので、一度そこをまとめていただいて、委員皆さんに資料配付していただいて、会派で確認取るなり、委員会で確認取るなりして、次の委員会開催のときにはそれをもってどうしようかって話ができるようにしていただけたらいいかと思いますが、いかがでしょうか。

**○塚田委員長** 分かりました。

じゃあ、先ほどあった、大体2の実施方法の部分が、継続でちょっと皆さんと話し合いをしないといけない部分かなと思うので、2の(1)、(2)、(3)の部分を、またちょっと事務局と私と話をして、資料なりつくって、皆さんに配付して、次の委員会のときに決定できるようにできたらなと思います。

伊藤委員。

**○伊藤委員** 何か話が前回に戻るみたいでちょっと、本当に何か恐縮なんですけど、やっぱりタイトな期間でやっていかなきゃいけないので、議会報告会もやっぱり作業チームを開催したらどうかと思ったところですよ。

(「同時進行ですよ」と奥岩委員)

**○塚田委員長** 伊藤委員。



○伊藤委員 やっぱり集中して議論をしなきゃいけないところあったりとかするので、議会だよりも、何回か集まらせていただいているいろいろ案を練るっていうことも必要だったように、やっぱり月に1回ぐらいの広報広聴委員会ではなかなか議論し尽くせないところもあったりとかするので、作業チームをやっぱり、今回だけでも集中をして、ちょっと軌道に乗せて、タイムスケジュールに合わせるようにするっていうのが必要なのかなと思いました。

(「報告会の資料づくりですよね」と奥岩委員)

資料づくりだけではなくて。

(「この実施方法のところ、詰めないと」と錦織委員)

いろいろなことをね。

(「これができないと資料づくりもできない」と錦織委員)

です。

○錦織委員 ちょっと関係団体っていうのと広く一般というところで、広くに一般っていうのを広くしてしまうと、元の木阿弥になってしまうということもあたります。なかなかそこら辺の兼ね合いが難しいけど。

○塚田委員長 議会報告会の作業部会をつくったほうがいいということですね。その意見に何かありますか、皆さん。

奥岩委員。

○奥岩委員 報告会の作業部会というか、報告会の作業委員会やろうっていう話で決まっていたと思いますので、今の伊藤委員の話はそれじゃなしに、要項を決めるのに、別で部会で集まろうって話じゃないですか。違いますか。

○塚田委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 前回、議会報告会は作業チームをつくらずに議会だよりだけっていう話じゃなかったですかね。

○塚田委員長 奥岩委員。

○奥岩委員 議会だよりは部会をつくってやって、議会報告会は委員会皆さんが作業委員会のときにやろうって話をしたような気がしますけど、違いますか。

(「みんなが作業委員になるわけ」と錦織委員)

全員がって。

(「全員が」と錦織委員)

いう話でしたですね。

(「ああ、そうですか、分かりました」と伊藤委員)

大丈夫ですか。

○塚田委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 じゃあ、次の委員会を1か月に1回くらいじゃなくて、タイトにして決めていかなきゃいけないんじゃないですかね。

○塚田委員長 そうですね。

(「やらないとできない」と門脇委員)

やらないとできないですね、はい。事務局とまた話しして。

(「日程は今決めといたほうがいいんじゃない、みんな顔そろえてるんだから」と錦織委員)

（「定例会入るんで、どっかその辺ですよね」と奥岩委員）

○塚田委員長 松田委員。

○松田委員 今日の議論を踏まえて、改正案、要項の、今の出てる案のちょっとバージョンアップしたものができてからじゃないといけないと思うんで、それがいつ頃できるかで開催の件は決まってくると思います。

○塚田委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 すみません、何度も。

私もそう思うんですけども、皆さんこれ、御意見を書いとんなるじゃないですか。意見っていうよりか、改善、こういうふうな文章でイメージするといいていう提案にしてもらったらすっと決まるんじゃないかな。意見ではなくてね。

○錦織委員 そのものの提案、そのものの、文字でもう提案する。何々するものとするじゃないとか、何かそんな感じ。

○塚田委員長 文章で、この文言を入れてもらったらいということですね。

○伊藤委員 そうですね。

○塚田委員長 奥岩委員。

○奥岩委員 先ほども申し上げたんですけど、できれば事務局、委員長案を今日の意見を基に作成していただいて、それを事前に委員のメンバーに配付していただいて、確認をしてっていう形だとやりやすいのかなと思いますが、いかがでしょうか。

○塚田委員長 はい、分かりました。

松田委員。

○松田委員 私も奥岩委員と同じような形で、方向性はそれで決めていったほうがスムーズだと思います。

○塚田委員長 じゃあ、また事務局と私がちょっと話をして、ちょっと作成してみて、皆さんに配付したいと思いますので、よろしいでしょうか。

（「お願いします」と声あり）

では、早めに。

最後に、協議事件3、その他ですが、皆様から何かございますか。

○塚田委員長 松下調整官。

○松下調整官 すみません、ちょっとその他で1件だけ。

前回の広報広聴委員会の際に、議会だよりの表紙で、人物の場合に肖像権の問題があるので承諾書が要るんじゃないかという御意見がありまして、それで、様式を事務局のほうで考えてほしいという御意見がありましたので、事務局で考えましたが、肖像権等使用同意書ということで、候補になっていただく際には口頭で、もしかして表紙になるかもしれないけど、そのときは了承してもらえるかっていうことで、案をいろいろ出していますが、今日、こうしてこの中学生が表紙になるということでしたので、前回の御意見を踏まえて、この方に同意書を文書で頂くというような形で、次回以降もそのように、最終的に決定した方に文書で頂くということがいいんじゃないかというふうに思っていて、今日、こういったひな形を用意しておりますので、ちょっと御協議をお願いしたいと思います。

○塚田委員長 今、松下調整官のほうから同意書のほうを頂きましたが、皆様、目を通し

ていただいて、特に御意見がありますか。

奥岩委員。

○奥岩委員 1点確認なんですけど、事務局に。これは法制担当のほうは確認取っておられますでしょうか。

○塚田委員長 松下調整官。

○松下調整官 確認はしておりません。

○塚田委員長 奥岩委員。

○奥岩委員 私、個人的にはいいのかなと思いますけど、事務局経由で委員長から法制担当確認取っていただいて、それでオーケーが出ればこちらでいいと思います。

○塚田委員長 松下調整官。

○松下調整官 法制担当に確認した上で、最終的に、少し表現が修正するところがあれば修正した形で、また委員さんには報告したいと思います。

○塚田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○塚田委員長 なければ、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午後3時17分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長 塚田佳充